

イノシシに出会った時は…

①近づかない

ほとんどの場合はしばらくすると自然と山に帰っていきます。
犬などを連れていると、敵と判断して攻撃しえくることがあるので、十分に注意してください。



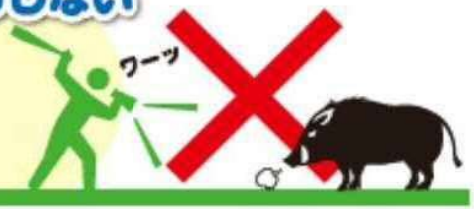
②ゆっくり後退し、静かに立ち去る

立ち去ることが難しいときは、
安全な場所でイノシシが立ち去るまでやり過ごしてください。
安全な場所から、音を立てるなどして、人がいることを知らせましょう。



③威嚇したり、驚かせたりしない

むやみに興奮させると危険です。





イノシシが物陰などにいる場合があります。
びっくりさせて突発的な事故を防ぐため、
イノシシの出没のおそれがある場所では、特に夜に出歩くときは、
音や光でこちらの気配を知らせるようにしましょう。





どうして被害がなくならない？



北九州市では市民生活に被害をもたらすイノシシを捕獲しています。

（単位：頭）

年　度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
捕獲頭数	1,341	1,612	1,612	1,119	2,097	1,053

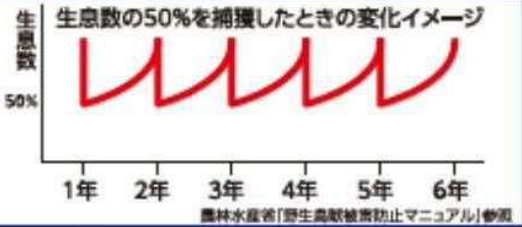
これだけ捕獲しても
イノシシによる被害は無くなりません。

なぜか？

それは…イノシシが
とても繁殖能力が高い動物だからです。

- 早い性成熟
- 高い妊娠率
- 多い産子数
- 基本的に年1産
- 1歳までに約50%が死亡

捕獲しても次の年には元の数に戻ってしまいます。



捕獲するだけでは、根本的な解決にはなりません。

だから



イノシシを近づけない工夫をし、
イノシシと上手に付き合っていく
ことが大切です。

中面にヒントを記載しています。



イノシシを呼び寄せない環境づくりが大切です。

地域のみなさんで力を合わせ、イノシシが近づきにくい環境をつくりましょう!!

❶餌付けをやめよう！

イノシシが街なかに出てくる最大の目的はエサです。
食べ物のない場所はイノシシにとって魅力がありません。

「故意の餌付け」だけでなく、
「知らないうちに行っている餌付け」に注意

●エサを与えない

・人慣れしてしまい、頻繁に出没するようになる。
・予想もしていない動きでケガをさせられる可能性がある。



●犬やネコのエサを正しく管理

・片付けまで責任をもって行う。
・エサを放置しない。



●家庭菜園の管理

・柵などを仮設し、侵入を防ぐ。



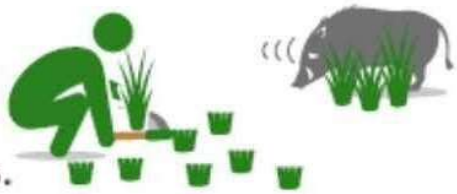
●ゴミ出しマナーの徹底

・袋の口をきちんと結ぶ
・ゴミ出しの時間を守る
・柵の利用や金属製のゴミ箱の利用も効果的。



❷イノシシの隠れ場所をなくそう！

・地域の皆さんで協力し、草刈りや清掃を行う。



❸イノシシの侵入を防ごう！

・イノシシの侵入路や自宅の侵入してほしくない場所に、柵やトタン、ネットなどを設置。



人間とイノシシがともに幸せに暮らすために「棲み分け」が必要です。